

突然の衆院選

国民生活、自治体実務を犠牲に。解散権乱用の議論を

1月19日に高市首相が衆議院解散を表明し、総選挙が行われる。同日、5人の自治体首長が呼びかけて緊急声明を公表した。

緊急声明では

声明は、「選挙を実務として支えているのは、自治体職員」として、「自治体はいま、新年度当初予算の編成作業の真つた中。加えて、『物価高対策』について、国の補正予算が12月16日に成立し、年末年始をまたいで臨時議会を開き、執行体制を構築した。この時期に解散・総選挙が行われれば、国の来年度予算が年度内に成立せず、暫定予算となる可能性が高まり、行政運営に必要な経常経費以外の予算執行に制約が生じ、自治体運営にも大きな影響が及ぶ。日常業務に加え、

呼びかけ人コメント

(阿部裕行・多摩市長) 高市政権のもと日本の根幹政策を転換したのであれば、国民の信を問う前に、新首相として予算編成に込めた思いを施政方針演説で堂々と述べ、与野党から代表質問を受け、丁々発止の議論を行うことが憲政の常道ではないですか。まずは新年度の予算を成立させることが首相の責務です。(保坂展人・世田谷区長) 1月9日に突然に出た『衆議院の解散』は、報道が先行する中で総務省による通知がなされ、『1月27日公示・2月8日投票』を最短期間として準備するよ

緊急声明の呼びかけ人と賛同人一覧

【呼びかけ人(50音順)】

- 東京都多摩市長 阿部裕行
神奈川県小田原市長 加藤憲一
東京都杉並区長 岸本聡子
東京都中野区長 酒井直人
東京都世田谷区長 保坂展人

【賛同首長】(1月27日現在)

- 三重県伊賀市長 稲森稔尚/大阪府交野市長
山本景/埼玉県和光市長 柴崎光子/兵庫県宝塚市長 森臨太郎/静岡県伊東市長 杉本憲也/神奈川県真鶴町長 小林伸行/長野県山ノ内町長 平澤岳/福岡県大野城市長 堤かなめ/神奈川県座間市長 佐藤弥斗/神奈川県三浦市長 出口嘉一



声明全文はここから

うに各自自治体の選挙管理委員会事務局に届いて、あわてて準備が始まりました。高市首相による『解散表明』は実に10日後の19日の記者会見まで空白のまま、延びました。『2月8日』なのか、『2月15日』なのかさえ、19日の表明を待つことになるという異例の事態でした。明かされた解散理由は『首相が高市早苗でいいのか国民に問いたい』というものでした。それなら、来年度予算審議を終えて、高市内閣の政策の全容を明らかにしてからでも、十分によれます。自己都合解散、支持率が高いうち解散と言われる打算のために、豪雪地帯もある厳冬に選挙を行う必然性はありませ

ん。(岸本聡子・杉並区長) 今回の緊急声明は、衆議院解散の正式表明がないまま選挙準備を迫られた自治体の現場からの問題提起です。予算編成や物価高対策の対応が最も集中する時期に、超短期間での選挙事務が重なり、自治体職員には過度な負担が生じています。国の予算が年度内に成立しない可能性は、自治体運営にも直接影響します。こうした現実を直視せずに解散が行われることは是非、そして解散権の行使の在り方について、社会全体で冷静な議論が必要だと考えています。

突然の衆院選

小笠原みどりさん講演(続)「スパイ防止法」の問題点 政府の手に個人情報情報が渡るとなぜ危険なのか

高市首相は「スパイ防止法」の制定に前のめりだ。「スパイ防止法」の内容や問題点は、本紙1月15日号でカナダ在住の監視問題研究者・小笠原みどりさんの講演をまとめたが、その続編。(清水さつき)

国の監視を支える企業

「スパイ防止法」によってどんな社会になるのか。まず例として挙げたのはイスラエル。イスラエルは監視国家で、監視システム開発企業が多いことでも有名だ。イスラエル企業のNSOが開発した、モバイル機器対象の「ペカサス」という高度な情報収集スパイウェアがある。「ペカサス」は、世界45カ国以上で、おそらくカナダでも、警察やスパイ機関が購入していると言われています。反政府的ジャーナリストや人権活動家、一般市民を対象に、携帯電話に不正侵入してリアルタイムで携帯情報を送信する。しかも、ゼロクリック」といって、悪意あるリンクをクリックしなくても携帯電話をハッキングできる『ペカサス』で監視され、殺されたジャーナリストもいます。「スパイ防止法」ができれば、日本政府がスパイを洗い

出すという名目で、秘密裏にこうした監視の手段を使う可能性がある。また、「イスラエル軍にはAI監視を行う8200部隊(軍の情報収集部門の一部)署。米国の国家安全保障局(NSA)に類似)があり、パレスチナ人を監視し続けています。その監視データの保存のために巨大なデータサーバを特別に用意したのがマイクロソフト社。マイクロソフト社がイスラエル軍のパレスチナへのジェノサイドを可能にしているのです。私たちが

英国・オーストラリア・ニュージーランドの旧大英帝国間で機密情報を共有している。何が行われているか。「カナダでは、多くのアラブ系やムスリムの市民を監視下に置いて、無実の人が米軍で拘留され、シリアに送られて拷問された事件もありました。警察やスパイ機関は現在も先住民を監視しています。『スパイ』という国の安全を脅かす人と考えられがちですが、実際に監視され逮捕されているのは、白人至上主義や入植者植民地主義に抵抗する人たちです。そして「米国は政府指導者が国際法も国内法も無視して、移民を大量に国外追放しています。移民局は携帯電話や顔認証システムを使って移民たちだけをなく、友人など関係者も追跡し逮捕している」と、小笠原さん。

「こうした事件は政府の手に個人情報が行くことの危険性を知らせています。秘密法や共謀罪、そしてデジタル化、マイナンバー制度が進み、私たちの情報が集まったところで『スパイ防止法』が成立すれば、政府は治安目的で情報を使うことを正当化できる。『スパイ防止法』の成立を止めなければなりません」と語った。8日の選挙で意思を示したい。



コーラージュ

普段利用しているグーグルやIBMもイスラエル軍の監視活動に協力していることが国連で報告されています」と語った。

選挙でNOをカナダにはカナダ安全情報局(CSIS)というスパイ機関がある。「ファイブアイズ」と呼ばれる米国・カナダ・

長らく待ち焦がれていた日本のフェミニズムに新しい扉が開きました/ 実践・研究してきた著者の 渾身の在日朝鮮人フェミニズムがここにあります。 フェミニズム視点からの在日朝鮮人史 一植民地主義・家父長制・性差別 ふえみ・ゼミ&カフェ ベーシック講座セレクション No.1 ● 宋連玉 著 日本の「戦後民主主義教育」のもとで受けたシビアナ民族差別、大学卒業後に歴史を学ぶために向かった70年代の韓国で「民族主義」に疎外された体験、そこから民族主義、近代主義、反植民地主義について考える心の旅を続けている。 ● ふえみ・ゼミ&カフェ運営委員会 編 はじめに一在日朝鮮人フェミニズムを編み上げる試み 第1章 はじめに一足元から始まる歴史 第2章 植民地期の在日朝鮮人の暮らし 第3章 在日女性の破片を繋ぐ 第4章 植民地主義が強化する家父長制 第5章 届かない思い・届けない思い おわりに「日本のフェミニスト」を解体する ふえみ・ゼミ&カフェとは? ご寄付のお願い 有限会社一聯合専用販売サイト

子どもの性の多様性 セクシュアル・アイデンティティと ジェンダー・アイデンティティの 探求を支えるために 佐々木掌子 (明治大学准教授) 子どもの性の多様性 電子書籍あり 四六判並製208頁, 2530円 学びを愉しく 株式会社 ちとせプレス 〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山5丁目20-9 ハウス・アム・パンホフ 203 Webサイト: http://chitosepress.com E-mail: info@chitosepress.com Tel: 03-4285-0214 / Fax: 03-4243-3725